

ステキな景色をパシャリ

#自分だけの

1コマ

市内で見かけるさまざまな景色。一人一人、お気に入りの景観があるはず。鈴鹿市景観計画の改定にあたり募集した「自分だけの1コマ」写真の中から、写真展（3月初旬）に使用した市内の景観写真を紹介します。

※現在は募集していません。



ひとまちモータースポーツ

鈴鹿8耐～45回目の夏～

1978年に第1回大会が開催された「鈴鹿8時間耐久ロードレース（鈴鹿8耐）」。コロナ禍による2度の中止を挟み、今年が45回目の節目となり、7月19日（金）から21日（日）まで開催されます。

今では世界耐久選手権の1戦として国内外に知られている鈴鹿8耐は、“鈴鹿オリジナル”のレースです。オイルショックでレース界が低迷していた70年代後半に「鈴鹿で久々の2輪国際大会を」という機運を受け、鈴鹿サーキットと関係者が創り上げた「11時30分スタートの8時間耐久」という独自のレース形式は、数多くのドラマと感動を生み出してきました。

レース前日の夕方には、鈴鹿商工会議所青年部主催の「バイクであいたいパレード」が行われ、市内から鈴鹿サーキットまで約500台ものバイクがパレードするなど、モータースポーツのまちらしく、地元との一体感は格別。今や鈴鹿8耐は、鈴鹿市の財産といっても過言ではありません。

大迫力のル・マン式スタートから大輪の花火が夜空を彩るフィナーレまで、特別な一日をぜひ会場で体感してください。



▲鈴鹿8時間耐久ロードレース（2023年）

なかの よししげ

■中野能成（鈴鹿モータースポーツ友の会 事務局）

キーボード

4月に広報グループに異動し、初めて特集制作を担当しました。「市民参加」がテーマです。

市民参加という言葉には、自ら一歩踏み出して参加する能動的なイメージが強いかもしれませんが、きっかけはさまざま。取材した方の中にも、「声を掛けられて参加した」、「学校で興味を持って申し込んだ」など、それぞれの理由がありました。

今回の取材で印象に残ったのは、子ども食堂の準備で親子以上に年齢の離れた二人が肩を並べて、談笑しながら調理をしている場面で、それぞれの姿がとても生き生きと見えました。出会いという貴重な経験も市民参加で得られるものの一つかもしれません。

私も、今後の広報取材を通じて、いろんな人との出会いがありそうだと思います。締切間近に編集後記に苦しむ新人広報担当者なのでした。（梓）